

第5回放射線災害・医科学研究拠点カンファランス

日時:2021年6月5日(土) 13:00-15:45

(Zoomを利用したオンライン開催)

【プログラム】

開会の辞 広島大学原爆放射線医科学研究所長 田代 聡 13:00-13:05

分類 1 低線量被ばく影響とリスク研究

座長: 金井 昭教 (広島大学 原爆放射線医科学研究所 がん分子病態研究分野)

- (1) 放射性 $^{56}\text{MnO}_2$ 微粒子曝露による低線量被曝でのラット雄性生殖線機能低下 13:05-13:10
藤本成明¹、星正治²、Nailya Chaizhunossova³
¹広島大・原医研・疾患モデル解析、²広島大・平和センター、³セメイ医科大・疫学
- (2) 実験マウスモデルを用いた、放射線発がんにおける被ばく時年齢依存性の解明 13:10-13:15
笹谷めぐみ、松井亜子、神代紗央理、林田耕臣、Elena Zaharieva、神谷研二
広島大・原医研・分子発がん制御
- (3) DNA複製ストレス応答におけるINO80複合体の役割 13:15-13:20
孫継英、堀越保則、衣笠泰葉、田代聡
広島大・原医研・細胞修復制御
- (4) 放射線が着床前期胚に与える影響 13:20-13:25
金井昭教¹、清水なつみ²、長町安希子¹、河合秀彦³、稲葉俊哉¹
¹広島大・原医研・がん分子病態、²理化学研究所・生命機能科学研究センター、
³広島大・大学院医系科学研究科

質疑・応答 (5分間) 13:25-13:30

座長: 鈴木啓司 (長崎大学 原爆後障害医療研究所 放射線災害医療学分野)

- (5) トリソミー症候群の細胞初期化で誘導されるトリソミーレスキュー 13:35-13:40
阿久津シルビア夏子¹、宮本達雄¹、富岡啓太¹、大場大樹²、大橋博文²、松浦伸也¹
¹広島大・原医研・放射線ゲノム疾患、²埼玉県立小児医療センター・遺伝科
- (6) 放射線発がんリスクの低減に寄与する細胞競合 13:40-13:45
鈴木啓司、Aidana Amrenova、光武範吏
長崎大・原研・放射線災害医療学
- (7) I-131 に対する細胞応答性とWBC測定によるI-131摂取量に基づき原発事故後の
甲状腺癌のリスクを考える 13:45-13:50
三浦美和¹、福田直子²、平川美弥子³、山内基弘⁴、工藤崇²、松田尚樹^{1,3}
¹長崎大・原研・放射線生物・防護学、²長崎大・原研・アイソトープ診断治療学、
³長崎大・先端生命科学研究支援センター・アイソトープ実験施設、
⁴九州大・アイソトープ統合安全管理センター

- (8) 医療従事者の透視業務における水晶体被ばくの実態と防護眼鏡による防護効果
 工藤崇¹、西弘大¹、福田直子¹、松田尚樹²、高村昇³、増田真弓⁴、13:50-13:55
 織内昇⁵、伊藤浩⁶、粟井和夫⁷
¹長崎大・原研・アイソトープ診断治療学、²長崎大・原研・放射線生物・防護学、
³長崎大・原研・国際保健医療福祉学、⁴長崎大病院・看護部、⁵福島医大・放射線医学、
⁶福島医大・ふくしまセンター・先端臨床研究センター、⁷広島大・放射線診断科
- (9) ¹³⁷Cs Body-burden and the potential effect to health after a long period of time since the Chernobyl
 Nuclear Power Plant accident. 13:55-14:00
 Yesbol Sartayev¹, Jumpei Takahashi², Alexander Gutevich³, Naomi Hayashida¹
¹Division of Strategic Collaborative Research, ABDI, Nagasaki Univ, ²Center for International
 Collaborative Research, Nagasaki Univ, ³Zhytomyr Inter-Area Medical Diagnostic Center
- 質疑・応答 (5分間) 14:00-14:05
- 休憩 (10分間) 14:05-14:15

分類 2 放射線障害医療

座長：松山 睦美（長崎大学 原爆後障害医療研究所 生体材料保存室）

- (10) アミノ酸混合物シスチン・テアニンのラットにおける放射線防護効果 14:15-14:20
 松山睦美¹、七條和子²、土屋誉³、中島正洋^{1,2}
¹長崎大・原研・生体材料保存室、²長崎大・原研・腫瘍・診断病理学、
³仙台医療センター・仙台オープン病院
- (11) 甲状腺オンコサイトーマにおける mitochondria eating protein (MIEAP)の発現・機能 14:20-14:25
 永山雄二¹、Mussazhanova Zhanna²、嶋村美加¹、中島正洋²
¹長崎大・原研・分子医学、²長崎大・原研・腫瘍・診断病理学
- (12) オートファジーとゲノム安定性の維持 14:25-14:30
 川端剛、李桃生
 長崎大・原研・幹細胞生物学
- (13) ヒトゲノムのメチル化解析 14:30-14:35
 濱口陽、木下晃、三嶋博之、吉浦孝一郎
 長崎大・原研・人類遺伝学

質疑・応答 (5分間) 14:35-14:40

座長：仲 一仁（広島大学 原爆放射線医科学研究所 幹細胞機能学研究分野）

- (14) 原爆被爆者 MDS と治療関連 MDS の臨床的比較 14:45-14:50
 宮崎泰司
 長崎大・原研・血液内科学
- (15) リゾリン脂質代謝による CML 幹細胞の制御メカニズム 14:50-14:55
 仲一仁
 広島大・原医研・幹細胞機能学

(16) Fingernail ESR dosimetry: Recent findings and perspectives Chryzel Angelica B. Gonzales, Jolan E. Taño, Hiroshi Yasuda 広島大・原医研・線量測定・評価	14:55-15:00
質疑・応答 (5分間)	15:00-15:05
休憩(10 分間)	15:05-15:15
分類 3 放射線災害の社会影響と放射線防護	
座長: 長谷川有史 (福島県立医科大学 医学部 放射線災害医療学講座)	
(17) 原子力災害対応者の業務姿勢に影響を与える因子の検討 -救急救命士養成校の学生に焦点を当てて 長谷川有史、高橋司、井山慶大 福島医大・医学部・放射線災害医療学	15:15-15:20
(18) 福島第一原発事故から10年:復興に資する研究の展開 高村昇、松永妃都美、折田真紀子、平良文亨 長崎大・原研・国際保健医療福祉学	15:20-15:25
(19) 放射線による次世代影響不安と知識との関連 廣田誠子 ¹ 、中山千尋 ² 、吉永信治 ¹ 、森山信彰 ² 、安村誠司 ² ¹ 広島大・原医研・計量生物、 ² 福島県大・医学部・公衆衛生学	15:25-15:30
(20) 広島大学原爆放射線医科学研究所所蔵物理試料の状況について 久保田明子、杉原清香、吉永信治 広島大・原医研・附属被ばく資料調査解析部	15:30-15:35
質疑・応答 (5分間)	15:35-15:40
まとめと閉会の辞 長崎大学原爆後障害医療研究所長 宮崎 泰司	15:40-15:45